

県医労新聞

2011年11月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1856号(月刊71号)



「いのちを守る10.20国民集会」(10月20日 日比谷野外音楽堂)

目次

- 1 P 第146回中央委員会
2011 人事院勧告
- 2 P 第2回地域医療を守る全県交流会・
全国交流集会
第48回壮年部集会
- 3 P 支部ニュース
第7回県医労「友の会」のつどい
- 4 P 青年部ニュース
いのちをまもる10.20 国民集会
- 5 P 女性部ニュース
- 6 P つぶやき、とんがらし
9月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル
ちひろカレンダー
11・12月の予定



文化行事で「INORI～祈り～」を熱唱する歌手のクミコさん

年次超勤 9日夜勤 人手不足に負けない運動を

中央委員会で秋の方針を決定

第146回中央委員会



中野委員長の音頭で「団結ガンバロウ！」

「超勤を
書くと何をしてい
たのと聞かれ、書
きづらい雰囲気も
あるが、負けない
でみんなで書いて
いる。自分の体は
自分で守らないと
ダメだ」、「事務
局長交渉で増員を
追及し、9、10月
に他病院からの異
動（兼務発令）で10
人の増となった。
しかし、患者の重

高田、釜石支部など、東
日本大震災で被災した病院
支部も出席し、第146回
中央委員会が、10月22日（土）、
盛岡市「水産会館」で開催
され、秋・年末の運動方針
を決めました。

来賓に、岩手医労連、い
わて労連、日本共産党の3
団体（社民党は欠席）が出
席し、特に県議会での達増
知事による被災した3病院

の復活への言及に対し、県
医労を先頭にした運動の成
果であり、さらに取り組み
の強化が必要だと、激励が
ありました。

第1号議案の2011年
秋・年末運動方針の討論
では、各支部での実態を
含めて活発な発言があり
ました。「職場にあきらめ
モードもある。こんなに運
動しても人手不足が改善さ

症化、7対1看護の実施も
あり、増えた実感がない」、
「年次を希望しても非番に
される」「1人の病休で、
すぐに9日夜勤となる。10
月は勤務割り作成時点で9
日夜勤だ」「現状をどう変
えるか。忙しいから組合に
行けないという壁を乗り越
え、頑張ろう」などの発言
を受け、方針は満場一致で
採択されました。

第3号議案の「書記給与
の補填」については、支部
長会議等で検討してきたも
のの、初めて聞いたという
中央委員がいる一方、これ
までの経過を押さえ、「大
いに評価する」との意見も
ありました。来年度には調
整もあるとの執行部総括答
弁を受け、保留1、賛成多
数で採択されました。

2011 人事院勧告

3年連続マイナス勧告

人事院は3年連続のマイナス勧告を行いました。
主な内容は、①月例給は平均899円（0.23%）の引
き下げ、一時金は据え置き（3.95ヶ月）、②50歳台
に重点を置いた40歳台以上の俸給表の引き下げ、③
経過措置額は平成24年度は2分の1（上限1万円）
に減額、平成25年4月に廃止、などです。また、政
府が勧告制度を無視して、国家公務員の賃金を平均
7.8%カットする「給与臨時特例法案」を上程した
ことについては、「強い懸念」を表明しています。

地公共闘（県職員7労組）、県公務共闘（自治労連、
県国公、県医労、福祉労組、郵産労）といわて労連
では、それぞれ県人事委員会に対し、国に追随する
ことなく賃金・労働条件の充実をはかる勧告を行う
よう要請書を提出しました。

「地域医療を守れ！」

～岩手と全国でも

交流会開催される～

地域医療を守る秋の交流会が、遠野市と東京で開催されました。大震災から半年が過ぎ、地域医療を守るための新たなスタートとするために各地域で活動している方々が集まりました。県の交流会には、県医労から、10支部・本部31名、全体で約120名が参加しました。

「無床後の現実」は

9月24日、遠野市で行われた「第2回地域医療を守る



県議会議員 6 人も参加しました

る全県交流会」は、無床化された6地域と津波で被災した沿岸からも参加者があり、熱心に交流しました。各地域からの発言では、民間移管された花泉の施設に関して住民から、医師が退職する噂があり、患者が転院させられているとの情報が出され、また被災地の陸前高田からは、「仮設でも、病院としてベッドが必要だ」などの力強い発言がありました。最後に住民組織連絡会の〇〇代表から、

県への要請行動も含め、今後の地域医療を守る決意が語られました。

「全国の仲間へ訴え」

「第2回地域医療を守る運動全国交流集会」は、10月1日から2日、東京都内の会場で開催され、全国から200名の参加がありました。1日目、記念講演のあとの特別報告は4名で、最初に岩手医労連・中野執行委員長より「東日本大震災からの医療復興の課題」の報告がありました。①「医療過疎」と呼ばれた地域の更なる地域医療の後退、②復興計画と議会や県の動き、③県立病院の再建をめざした私たちのとりくみについて報告しました。翌日は、各分科会にわかれ、運動の交流を行いました。



特別報告する
中野委員長

壮年部集会

第48回壮年部集会が、10月15・16の両日、花巻温泉「千秋閣」を会場に開催され、被災地の山田、大槌支部も含め15支部・本部72人が参加（岩手医労連全体では120人）しました。



三遊亭京楽師匠の落語を楽しむ参加者

1日目は、東京から落語家・三遊亭京楽師匠が、三遊亭円楽門下の十八番とも言える古典落語「芝浜」を熱演。最後の「また夢になるといけねえ」に大きな拍手がありました。続いて、直前にニュースにもなった年金制度改正の問題を、年金相談の窓口をしている全厚生労組の〇〇氏が解説。社会保障庁を分限解雇され裁判闘争を闘っている〇〇

氏から訴えもありました。夜は、京楽師匠の飛び入り「謎かけ」などもあり、楽しく交流、二次会へ流れて行きました。

2日目は、「退職後も助け合い」として医労連共済の説明が行われました。特に制度改定等で、退職前2年間の加入条件、加入できる期間は79歳までなど、医労連共済利用のポイントを学びました。参加者は、元気が出たと来年の参加を楽しみにしながら帰路に着きました。

組合員の9割が支部の役員 一致団結がんばっています

今回は高田支部を紹介します。県議会会で知事が答弁したように、仮設病棟が建設される事になった高田病院。今回は女性部にお話を伺いました。

■高田病院のスタッフは何人？

■現在医師も含め、68名です。

■今困っていることは？

■工事が始まると駐車場がかなり遠くなること。

■はやっているものは？

■にぎにぎ体操、毎朝患者様と一緒に職員一同で行うストレッチ

体操。職員・患者様から評判がいいです。その他、野球部、バレー部、卓球部がアフター5に活動しています。昼休みを利用してキャッチボールも盛んです。

■今必要なものは？

■職員駐車場、組合事務室、白衣。(医師以外は高田病院特製Tシャツと医療局ポロシャツで働いています)

女性部定期大会の様子



職員も一緒に朝のストレッチ

女性部の定期大会では部長を支え、今後の活動を一致団結して頑張っていくことを再確認しました。「愚痴も磨けば要求になる」女性のパワーは健在です。組合員の9割が支部の何らかの役員をしている高田支部、支部長を筆頭にがんばります。

行楽の秋・食欲の秋

大槌支部



10月2、3日、32名参加で青森へ。鰯ヶ沢では「わさお」に会い、八食センターではお土産を購入。久しぶりにみんなでリラックス。写真は浅虫水族館で。

胆沢支部



「年次を取って舞子弁当の会に参加を」という企画です。かわいい風呂敷(お土産です)の中には美味しいお料理が！9月と10月で64名が参加しました。

県医労

友の会のつどい

10月2、3日の両日、網張温泉「国民休暇村」において、第7回「県医労友の会」のつどいを20人の参加で開催しました。参加者は、再会の喜びや近況報告など話題が続き、大いに盛り上がる「つどい」となりました。2日目は、県医労本部から「県立病院をめぐる情勢」報告を受け、第20回総会を開催し、「友の会」の組織強化と県民医療を守る取り組み方針を決めました。



つなごう！ 人間らしく生きる、いのちのボタン

いのちまもる10.20 国民集会



10月20日(木)、東京・日比谷野外音楽堂を会場に、日本医労連、全日本民医連など10団体が主催する「いのちまもる10・20国民集会」が開催されました。住民本位の震災復興、くらしと医療を破壊するTPP反対、医師・看護師の増員などを

求めて、全国から5500名、県医労からは4支部本部15名が参加しました。オレンジ色に「いのちまもる」と白抜きされたタオルを手に、厚生労働省へシュプレヒコールを上げ、集会後には都内をパレードしました。

集会ではシンポジウム形式で、医師や看護師、患者など、それぞれの立場を代表して4名から発言があり、福島県民を代表し発言した〇〇〇〇さんは、涙で声をつまらせながら原発に対する国の無責任な対応を批判し、脱原発を訴えました。そして、「今も福島にたくさんの人が住んでいることを忘れないでほしい。福島に来てください」と参加者に呼びかけました。オープニングは歌手のクミコさんが「INORIS 祈り」などを熱唱し、参加者にエールを送りました。

じゃすまされない



全国青年大集会 2011

10月23日(日)、東京・明治公園を会場に全国青年大集会2011が開催されました。「震災だからじゃすまされない！まともな仕事と人間らしい生活を！」のスローガンのもと、全国から約4800名の青年が集結し、連帯と交流を深めました。メインステージでは、岩手を代表して岩手自治労連の〇〇青年部長（大船渡市職労）が被災自治体労働者の実態を発言しました（写真中央）。

新入組合員歓迎会キャンプ



一戸病院支部青年部は、毎年恒例の新入組合員歓迎会キャンプを9月3日(土)に軽米町ミレットパークで開催しました。新入組合員2名を含む総勢16名が参加し、BBQと花火で楽しく食べて飲んで盛り上がり、新入組合員、そして一戸病院支部青年部同士の親睦を深めました。早期に支部青年部定期大会を開催し一年間の活動方針と新役員を選出する予定です。

2011年度女性部長会議

集まって元気になるう！

ブロック集会の日程決まる

ブロック	担当	日程	会場	内容
北部	二戸	11月5日 (土)	ワークイン二戸	アロマ・リンパ マッサージ
中部	胆沢	12月18日 (日)	さくらホール	クリスマスケーキ 作り
南部	磐井	11月19日 (土)	アストロマン 大東	パウムクーヘン 作り
三陸	釜石	11月12日 (土)	こすもす創作 農家レストラン	野菜ケーキ・豆を使っ たデザート作り



10月3日、
女性部長会議
が開催され、
各支部の状況
や、第37回女

性部ブロック集会の日程等
を話しあいました。

冒頭、中野中央執行委員
長は、知事選結果や、9月
24日に開催された「第2回
地域医療を守る全県集会」
に触れながら、「医療の復興
計画はこれから。地域医療
を守り、被災した県立病院

を再建させる運動にとりく
みましよう」とあいさつし
ました。

支部交流では、頻繁に行
われる兼務発令が精神的な
負担になっていることや、
人員不足からすぐに9回夜
勤が発生してしまうこと、
7対1看護が始まってから
年次が取れない、超勤に
なった理由を追及するなど
のいやがらせや圧力がある
ことがされました。

また、旅行や食事会・文

化行事の企画など、
「集まって、話して、
元気になろう」とい
う女性部の活動報告
もありました。

午後からは、担当
支部を中心にブロッ
ク集会について話し
合いました。開催は
無理と思われた三陸
ブロックも釜石支部
を中心に集まり、交
流することが決まり
ました。

岩手医労連女性部第25回定期大会 女性が安心して 働ける職場を

9月29日、岩手医労連第25回女性部定期大会が県民会館で開催されました。

大会では、2年に1度実施している「権利アンケート」結果をもとに、母性保護、働くルール確立をめざした取り組みや、安心・安全の医療の確立など、1年間の活動の総括と今年度の運動方針を確認しました。

新年度役員には、県医労から〇〇〇〇〇さん（南光）が書記長に選出されました。



岩手県民会館で開催された医労連女性部定期大会



「放射能Q and Aの学習も行ないました」

つばやま

私の楽しみは、日曜日の「ダッシュ村」を見ることだったのですが、原発事故のために、そのダッシュ村も避難区域となっていました。ものを作り、育てる姿に毎週励まされ、癒されていました。ダッシュ村が元通りの姿になる日は来るのでしょうか。

磐井支部 ベガ

津波で本が流され反省し、残された本の電子書籍化をめざし、スキヤナーと裁断機を購入しました。自炊生活めざします。

釜石支部 Love ipat



通常業務よりも委員会と病院の機能評価に追われる毎日…。疲れたな！

二戸支部 ホタテ

あつという間に涼しくなりました。暑かった夏もすでに忘れつつあります。東の間のですが、秋晴れに心穏やかな日を満喫中です。

大船渡支部 ゆゆパパ

各地でお祭りが開催されており、震災で被災された

方が、少しでも元気を取り戻してくれたらと願っています。

久慈支部 ススキ

あの大震災以来、地盤沈下してしまい、満潮になると通勤路に海水が上がってきます。そのため、毎日潮位を気にしながら通勤しています。いつまで続く、この生活。

大船渡支部 エビ大好き

9月号パズル 当選者発表

9月号パズル「まちがいは7つ」には28名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

支部

■9月号当選者(敬称略)

おつきみ、ホタテ(二

戸支部)、コスモス、りん

ご娘(二戸支部)、○○○

○(中央支部)、クロカ

ナブン(中部支部)、ま

ぐろ、南光ゴネオ(南光

支部)、ジャンボウさぎの

妻、エビ大好き(大船渡

支部)

とんがらし

「TPP」「TPP」と騒がしく聞こえるようになりまし

た。数日前に出席した会議では、「床屋さんが、TPPに入ったら大変になるって言うた」との発言がありました。理容師の皆さんが長い間築き上げてきた安全とか、技術とか、日本独特のすべてがどこかに行ってしまうと今より更に安い価格で提供されるようになり、理容師さん方はやっていけなくなるだろうという内容でした。弱肉強食の市場原理が持ちこまれ、安全すら危惧されるというものです。▲突如TPP参加の議論が高まってきたのは、9月の日米首脳会議で野田首相が「早期に結果を出す」ことを約束させられ、11月12、13日にハワイで開催されるアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議を控えているためだといいます。▲環太平洋経

済連携協定(TPP)とは太平洋を囲む国が国境を越えて人、モノ、カネを自由に移動できるようにしようという協定で、シンガポール、ニュージーランドなど4カ国が2006年に締結し、現在はアメリカやオーストラリアなども参加交渉に入っています。日本もこれに参加すれば、輸入品の関税を基本的にゼロにしなければなりません。農産物の関税撤廃に加え、医療、労働、雇用、金融、商慣行など経済社会全般にかかわる規制の自由化を進める協定でもあり国民生活に打撃を与えることが、浮き彫りになりつつあります。▲野田内閣発足から2ヶ月。税と社会保障の「一体改革」で消費税増税を狙い、外来患者負担増や年金の支給年齢の引き上げの議論など、安心できる材料がひとつもありません。▲財界とアメリカのためのTPP参加ではなく、被災地復興を！と声をあげずにはいられません。

(な)

- ◇復興へ 景気をつける 秋祭り (やぶさめ)
- ◇更年期 この汗、冷や汗 玉の汗 (そして不眠も)
- ◇新首相 増税するのは 誰のため (被災地住民)
- ◇記念日に 年次も取れない 我が職場 (休めない人)
- ◇原発を 安全というなら 東京に (山本太郎)

職場川柳

未来をにう子どもたちに

核兵器のない世界を

いわさきちひろ

2012 カレンダー(大判)



幹旋価格 1,470円

(絵7枚 A2版)
59.4 × 42 cm

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先は〒020-00023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は11月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

11月の予定

- 1日(火) ~ 9日(水) 岩手医労連2011秋闘全国キャラバン岩手行動
- 2日(水) ~ 3日(祝) 保育大集会中央行動(東京)
- 5日(土) 第56回はたらく女性の岩手県集会(県民会館)
県医労女性部第37回北部ブロック集会(二戸)
- 8日(火) 県医労書記研修会(岩手教育会館)
- 9日(水) 県医労給食問題研究会(県民会館)
- 10日(木) 統一要求書回答指定日
- 11日(金) 人事異動要求書提出
日本医労連2011産別統一行動日
- 12日(土) 県医労女性部第37回三陸ブロック集会(釜石)
- 12日(土) ~ 13日(日) 日本医労連精神労組全国交流集会(東京)
- 13日(日) 11・13秋の県民大集会(岩手教育会館)
- 19日(土) 支部長会議(県民会館)
県医労女性部第37回南部ブロック集会(大東)
- 19日(土) ~ 20日(日) 県医労青年部中央交流集会(仙台)
日本医労連東北地方協精神労組交流集会(山形)
- 22日(火) ~ 23日(祝) 県医労職制組合員集会(ホテル大観)
- 26日(土) ~ 27日(日) 日本医労連病院給食対策全国交流集会(京都)
日本医労連東北地方協院内保育所交流集会(山形)

12月の予定

- 3日(土) 36協定・安全衛生委員会担当者会議
- 8日(木) ~ 9日(金) 日本医労連2012年春闘討論集会(予定)
- 17日(土) 支部長会議(県民会館)
- 18日(日) 県医労女性部第37回中部ブロック集会(北上)